

そっけん

# 息軒だより

三計の教え

一日の計は朝あしたにあり  
 一年の計は春はるにあり  
 一生の計は少壮しょうそうの時にあり



令和5年度8・9月号(第39号)

発行 宮崎市安井息軒記念館  
 管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
 理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘  
 〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail [sokken.yasui@pic.bbq.jp](mailto:sokken.yasui@pic.bbq.jp)

<https://yasuisokken.jp>

記念館のホームページがご覧になれます



安井息軒記念事業&息軒の日

～ 安井息軒記念講演会 etc ～

## 森鷗外『安井夫人』を読む

『安井夫人』掲載の雑誌「太陽」

講師 宮崎市清武町出身 大分大学名誉教授 日高貢一郎先生

安井息軒は明治9年(1876)9月23日、77歳で東京に没しました。中国や朝鮮でも名を知られ、当時並ぶものがないほどの漢学者であった息軒の著作は没後も次々と出版され、幾多の文化人たちが息軒について語っています。

大正2年(1913)、宮崎のジャーナリストで研究者でもあった若山甲蔵が『安井息軒先生』を出版しました。文豪森鷗外はこの本の出版を心待ちにしている、出版されるや否やすぐに購入し、翌年には雑誌「太陽」の誌上で女性を主人公にした初めての小説として『安井夫人』を発表しました。今回ご講演をいただく日高貢一郎先生の研究では、『安井夫人』は戦前の教科書に43回も採用されたとのこと。ということは戦前の教育を受けた人は日本中の人が、安井息軒とその賢く、美しく、やさしい夫人であった佐代のことを知っていたということになります。

今年は安井息軒顕彰会が特定非営利活動法人として活動を始めてちょうど10周年に当たります。そんな年に、清武の出身で、『安井夫人』の研究に長年従事して来られた日高貢一郎先生の貴重なお話をおうかがいすることができます。大変興味深いお話です。ぜひあなたもお誘いあわせの上、こぞ清武文化会館小ホールへお越しください。10時開場で、12時終了です。

当日文化会館ロビーでは、息軒関連の図書販売やDVD視聴コーナー、清武町内の幼保こども園児らによる息軒似顔絵・日本農業遺産関連展示もあります。さらに同小ホールにて午後1時半から2時半まで、息軒に関連した詩吟や詩舞、心やすらぐハンドベルの演奏、そして小学生児童による安井息軒劇も上演されます。当日は宮崎市清武町の生んだ知の巨人、安井息軒の世界にどっぷりと浸ってみませんか? ご来場を心よりお待ちしております。

令和5年度 安井息軒顕彰小学生使節団派遣事業

## 事前学習会 安井息軒記念館で開催!!

戊辰戦争ぼしんの混乱を避けて息軒が9か月間疎開をしたことが縁で平成15年度からスタートした「安井息軒顕彰清武町・埼玉県川口市文化交流事業」は宮崎市にも引き継がれて、現在では宮崎市内をいくつかのブロックに分けて、交流が継続されていましたが、コロナの蔓延により3年間見送られていました。そして今年久々に復活ということで大変うれしく思っていたのですが、今年は川口市からの来宮はなく、宮崎市からの派遣事業という形で実施されます。派遣に先立って宮崎市教育委員会生涯学習課の主催で二度にわたって事前研修会が開催されました。

1回目の7月1日(土)には派遣される市内の小学6年生15名が当館に来館し、学芸員の講義を受講したり、施設の見学をしたりしました。7月24日(月)には館長が清武総合支所に出向き、東京や川口市に残る息軒の足跡等について講義をしました。実りの多い派遣研修になることを心より祈念します。(文責:川口)



川口市派遣研修



市内の国指定史跡  
写真映え撮影標示



記念館空調工事

7月は休館させていただきました

# ご来館 ありがとうございます

埼玉県川口市の議員さん方

都城市旅友会のみなさま

清武町西新町のみなさま

7月4日(火)、安井息軒顕彰交流活動の相手先である埼玉県川口市の議員さん方7名が視察のため来館され、意見交換や見学をされました。

川口市と宮崎市は代表児童が相互交流をしてきましたが、コロナによる3年間のブランクのため、今年は宮崎市からの派遣のみ。このことを異口同音に残念がり、予算復活を明言しておられました。



6月9日(金)には都城市旅友会のみなさま45名がバスで来館されました。安井息軒に関する講話を聞いたり、館内や国指定史跡安井息軒旧宅を見学したりして、宮崎にもこんな偉大な人物がいたのかと感慨にふけておられました。

団体でご来館の方々にはいつも申し上げますが、またゆっくりと個人でご来館いただきたいものです。

7月27日(木)、西新町自治会の保護者や児童のみなさま14名がバスツアーの一環として来館され、講話を聞いたり、見学をされたりしました。安井息軒が亡くなったあとも、息軒のたくさんの本が出版されたことや、多くの文化人たちが息軒について語っていることに驚いていました。偉大な郷土の先人、安井息軒です。



## 宮崎国際大学につづき、宮崎学園短期大学の学生も来館

6月6日(火)には保育科が、9日(金)には現代ビジネス科が来館し、息軒に関する研修を行いました。幼保こども園に勤務する際、地域に根差すことは極めて重要です。現代ビジネスを展開する上でもまず地域を知り、貴重な人材を知り、生かしていくことは重要ですので、熱心に学んでいました。(文責:川口)



## 懸命に学んでいます…



### 5年度息軒会読終了

当館青山大介学芸員を講師とした、息軒のキリスト教批判書「弁妄」(べんもう)をみんなで読む講座全8回が好評のうちに終了しました。新年度に乞うご期待。

### 5年度記念館講座スタート

6月24日、放送大学歴史研究会那良則人氏を講師とした第1回記念館講座「薩英戦争と飢餓藩」が終了しました。第2回は9月9日(土)です。



### 古文書講座も開講

元高校教師、松浦祥雄氏による古文書講座も6月3日(土)からスタート。『宮崎騒動覚書上』を少しずつ読んでいく講座です。次回は9月2日です。

## 今に生きる安井息軒の言葉：息軒思想詮釈（読み直し）07

女子のさし出たるほど見にくきものはなし。『詩経』に「是もなく非もなく、唯だ酒食をこれ謀る」といひは、女子を教ゆる名言なり。(略)まして今の世の女、物を知りたりとて何ほどの事かあるべき。結局夫を侮り、舅・姑を軽んじて、不縁[※離婚]の媒と成るべし。(略)女の務むべきは貞順の道、酒色の事、織績縫針の業、その外は自用の弁ずるほどに読書を教うべし。その外に芸あれば、皆その身の害となる。汝が輩[※孫の千菊と小太郎を指す]、女子あらば[※もし結婚して娘が生まれたら]、この心得にて育つべし。(『睡余漫筆』p.51-52)

明治7年頃に、息軒が女子教育について述べた言葉です。これを読むと、「息軒先生を尊敬していますが、さすがにこれは……」という人もいるでしょう。SNSに投稿したら「炎上必至案件」ですが、明治時代の女子教育は「良妻賢母」の育成を目的としており、当時としては普通の考え方でした。例えば“明治時代に男女同権を唱えた”とされる福沢諭吉ですら、「女子教育」と題する一文で、女子に対する「裁縫」指導が不十分だと批判し、「一家の婦人が衣服の事を主宰(略)するの家風にてあらんには、子は母の慈心を汲みて自から之を大切にし、夫は妻の好意を顧みて自然に之を粗略にせず」「我輩は世間の婦女子に向て呉々も裁縫の大切なる所以を勧告し、併せて父兄及び女子教育の任に当る人々に対して一片の猛省を促すものなり」(『福沢全集』9巻、p.345-348)とっており、“女性は家庭に入るもの” “女子教育はそのためのもの”という固定観念に縛られています。

こんな息軒を父に持った娘は、いったいどんな女性に育ったのでしょうか。来年の企画展「息軒の娘：安井息軒の教育論」では、そのあたりに焦点をあてる予定です。

## ウイズコロナの時代 安井息軒顕彰活動も再び活発に…

清武小学校 PTA 学級対抗

### 息軒・清武かるた大会

6月25日(日)、コロナ禍を乗り越えて、久々に開催され、体育館は熱気に包まれました。



7月15日(土) きよたけ郷土祭り久々に

### 息軒行列復活!!

顕彰会員を軸として町域の小学生と保護者を募集して、60名が参加、元気に行進しました。



## 受講生好評募集中!

申し込みは P1 の枠内参照 記念館まで電話・FAX・メールで

### 第2回記念館講座

9月9日(土) 10:00~11:45  
「飢肥伊東家中興の祖  
第5代伊東祐実と清武」  
講師 日南市文化財専門員  
長 友禎治氏

### 古文書講座 10:00~11:45

2回完了しています。今後9月2日、30日、10月7日、11月18日  
「宮崎騒動覚書 上」を少しずつ読んでいきます。  
講師 松浦祥雄氏

### みやざき三計塾 10:00~11:45

安井息軒の代表的著作『論語集説』を丁寧に読んでいきます。  
10月8日、22日、29日  
11月5日、19日、26日全6回  
講師 宮崎大学教育学部准教授  
山元宣宏氏

## 安井息軒記念館秋企画展

## 安井息軒と南村家

幕末から明治初頭にかけて学者として頂点を極めた安井息軒。彼の大成の陰には飢肥藩清武郷の支配下にあったある赤江のある商家の経済的支援がありました。その人物像に迫ります…

☆ 9月1日(金) ~ 11月5日(日)

宮崎市安井息軒記念館玄関ロビーにて開催します。



賑わう城ヶ崎『日隅薩商工便覧』より

## 令和4年度 安井息軒顕彰活動等に関する外部評価委員会開催

7月7日(金)午後、平成5年度外部評価委員会を開催しました。これは令和4年度の安井息軒顕彰会の8事業、安井息軒記念館の11事業について、4月28日に開催した「関係機関・団体との意見交換会」にご参加いただいた21名の中から8名の方を外部評価委員として委嘱して、外部評価をお願いしました。

まず担当者が自己評価し、顕彰会幹部等が内部評価したものを19事業に絞り込み、第三者委員で外部評価していただくものです。結果を取りまとめ次第公表し、今後の事業改革に反映してまいります。



## 令和5年度きよたけ郷土祭りに「息軒行列」として60名が参加 ✨ ✨

7月15日(土・祝)、3年ぶりに息軒行列がきよたけ郷土祭りに参加しました。宮崎市清武総合支所から南下して岡地区の公園までの約800mを顕彰会の役員と清武小学校児童・保護者、さらにボランティアの約60名が参加し、沿道の方々に、息軒みこしや、掛け声、息軒先生の歌やチラシの配布等のパフォーマンスを行いました。参加者は低学年児童が多く、今回の参加によって心の中に息軒愛・郷土愛が芽生えたのではないのでしょうか。



## 新規事業「ファミリー息軒塾」開校！ 毎回 10:00 ~ 11:45

家族で楽しく息軒に触れ学ぶ機会です ✨

8月20日から来年3月までの月1回、親子やファミリーで様々な体験を通して息軒に親しみ、学ぶ「ファミリー息軒塾」を開校します。内容は「息軒学習」「息軒かるた遊び・大会参加」「息軒パズル」「息軒クイズラリー」「息軒ふるさとウォーク」等です。原則は7回とおしてですが、一度だけのご参加も可能です。

8/20, 9/3, 10/1, 12/3, 1/6(かるた大会), 2/4, 3/3(ふるさとウォーク)



## 9月23日(土)、安井息軒の命日に安井息軒記念事業を開催

令和5年9月23日(土)宮崎市清武文化会館で、午前中に安井息軒記念講演会(講師:大分大学名誉教授 清武町出身の日高貢一郎氏、演題「森鷗外『安井夫人』を読む」)、午後には清武の小学生による「息軒劇」と宮崎市芸術文化連盟清武支部の関係者による「息軒に関する書道吟と詩舞」や「ハンドベル」演奏を計画しています。

その他、ロビーでは終日清武町内の保育園等の園児による「息軒似顔絵」の展示、農業関係機関による「安井息軒と農業遺産」の展示紹介、顕彰会発行の図書販売等、「息軒の日」として安井息軒顕彰事業を計画しています。ぜひご来場ください。



## ボランティア大歓迎、国指定史跡息軒旧宅清掃に参加しませんか？

9月以降の旧宅清掃計画は、9月16日(土)、10月28日(土)、12月10日(日)、2月10日(土)、時間は8時30分から10時頃までです。雨天の場合は延期しますので、参加される方は前日に確認の連絡をお願いします。



## <ご来館の皆様方へのお願い>

- 新型コロナウイルスの感染防止対策へのご協力をお願いします。
  - ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。マスクは任意です。
- 安井息軒顕彰会の管理・運営などについて、ご意見・ご要望がありましたら右記までご連絡ください。

## NPO 法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1  
(宮崎市安井息軒記念館内)

電話: 0985-84-0234 FAX 84-2634

e-mail: yasuisokken@yahoo.co.jp

